

既決予算の見直しについて

1. 趣旨

これまで本県では、新型コロナウイルス感染症対策に多額の歳出を要しており、今後も長期戦となることが見込まれる。また、県税収入も、企業業績の悪化や消費の低迷等に伴って大きく減少するおそれがあり、財政運営は厳しさを増すと想定される。

こうした状況を踏まえ、予算計上済みの事業について、「新しい生活様式」や事業の必要性・緊急性等に照らして、中止、延期、実施方法の変更等の見直しを行った。

2. 見直し額

約 9.1 億円（一般財源ベース：約 7.3 億円）

会議やイベント等の中止や延期 7.9 億円（一財 6.7 億円）
会議やイベント等の実施方法の見直し(オンライン等)0.6 億円(一財 0.3 億円)
その他 0.5 億円（一財 0.3 億円）

3. 見直し内容（主なもの）

対象事業	見直し内容	既決予算額	見直し額
全国高校総体	中止	4 億 638 万円	▲3 億 5,563 万円
国民体育大会(国体等参加推進)	中止	1 億 731 万円	▲8,917 万円
群響ベトナム公演	オンライン発信	6,960 万円	▲4,509 万円
学校体育振興(全国大会等派遣費補助)	一部中止	4,203 万円	▲3,256 万円
尾瀬学校	実施校数の縮小	7,434 万円	▲2,951 万円
ぐんまマラソン	中止	4,166 万円	▲2,836 万円
群馬デスティネーションキャンペーン	一部中止	5,385 万円	▲1,036 万円

4. 見直しにより生み出した一般財源の活用方法

- ・今回の補正予算の一般財源として活用 3 億円
- ・今後の災害やコロナ対策への備え（財政調整基金の復元） 4 億円